

清須市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 令和4年度実施状況報告

1 計画概要

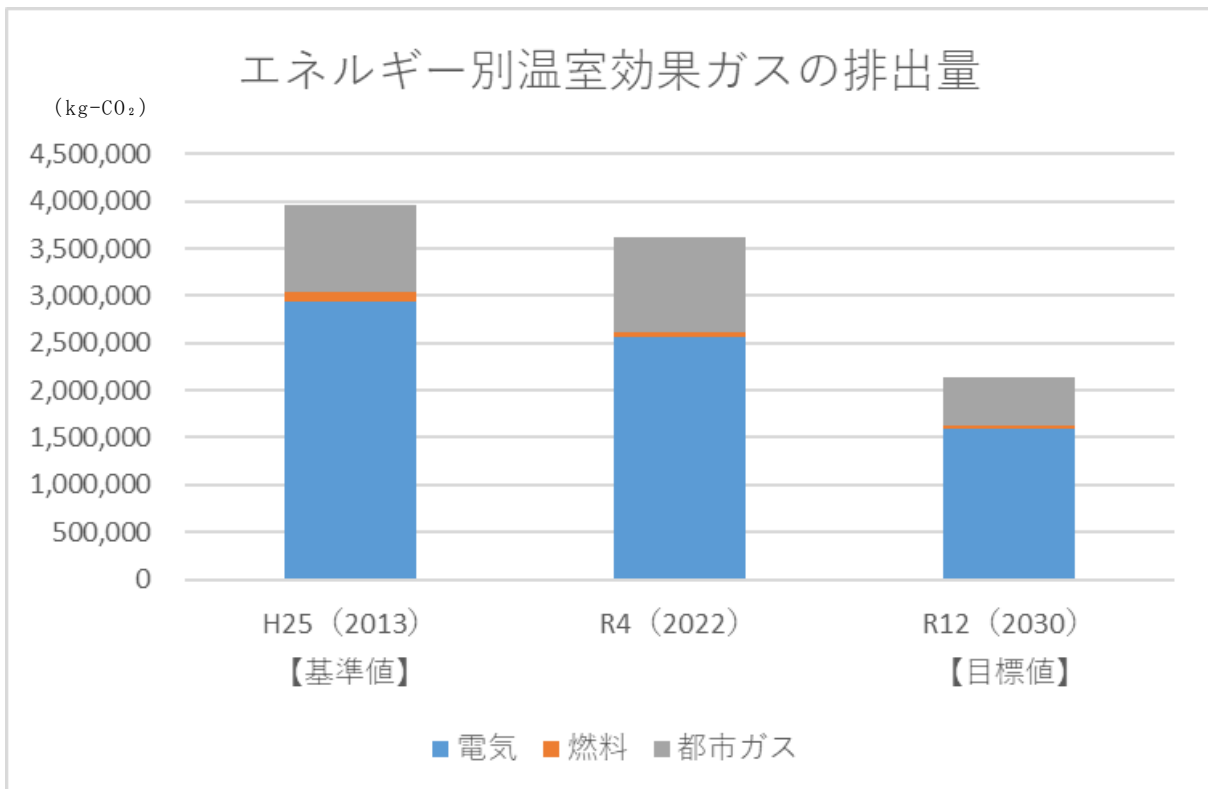
本市が行う全ての事務事業について、2030（令和12）年度までに、温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で46%削減を目標とし、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を実施する。

2 温室効果ガス排出状況

令和4年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度と比べて8.5%減少した。温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を引続き実行していく。

エネルギー別温室効果ガスの排出量

項目	基準年度 2013（平成25）年度	実績 2022（令和4）年度	削減率 基準年度比	目標削減率 基準年度比
温室効果ガス 総排出量（kg-CO ₂ ）	3,952,826	3,618,695	-8.5%	-46.0%
電気（kg-CO ₂ ）	2,933,725	2,567,052	-12.5%	-45.0%
燃料（kg-CO ₂ ）	99,920	50,817	-49.1%	-60.0%
都市ガス（kg-CO ₂ ）	919,181	1,000,826	8.9%	-44.5%



3 主な取組内容

- 再生可能エネルギー等の導入
 - ・清洲児童センターに太陽光発電を導入した。
- 省エネルギーの推進
 - ・ガソリン車である軽乗用車2台を廃棄し、電気自動車2台を購入した。
 - ・購入した電気自動車のための充電設備を2基増設した。
 - ・新設の街路灯については、LED照明を設置した。
 - ・春日公民館及び清洲勤労福祉会館外灯照明の照明はLEDを導入した。
- 省資源の推進
 - ・春日公民館のトイレ改修に伴い節水タイプに改修した。
 - ・広報紙の校正を紙から電子データへ変更し、紙類使用量の削減に努めた。
 - ・水道・紙類使用量の削減に努めた。

4 増減要因等

令和4年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度と比べて8.5%減少した。公用車の台数の削減や、電気自動車の導入により、燃料使用による温室効果ガス排出量が減少している。

一方、電気使用による温室効果ガス排出量が基準年度と比べて大幅に増加している。小中学校に空調を設置したことによる電気使用量の増加が主な要因と考えられる。

5 評価及び今後の取組

電気自動車の導入、LED照明の導入等、計画の取組を引続き実行していく。

また、再生可能エネルギー設備の導入、排出係数の低い電力の使用等を推進することにより、目標達成に向け、さらなる温室効果ガス排出量の削減に努める。